

家事について考えよう

分類・小学校 中学年 学級活動

1 目標

より温かい家庭を築いたり，自立の一步を踏み出したりするために，男女にかかわらず，家族の一員として家事に参加しようとする態度を育てる。

2 題材について

ほとんどの家庭で家事は主に母親が担っている。そして，この状況を当たり前ととらえ，見直そうとする家庭は少ない。よって，共働きの家庭での母親の負担はかなり大きい。

家族の一人として，家事に携わることは，児童の生活自立のために大切なことである。しかし，「子どもにさせると時間がかかるから。」とか，「やり直すのが面倒だから。」等の理由から，積極的に家事を分担させない家庭もある。また，自分のことを親任せにしている児童もいる。仕事を分担している場合でも，「くつそろえ」や「新聞取り」等，この時期の児童には簡単すぎるものも目立つ。

参観授業「家事について考えよう」を通して児童はもちろん，保護者にも「ジェンダーの視点に立って家事を見直す」機会を提供することにより，今まで当たり前であったことを見直し，「より温かい家庭を築くために，自立の一步を踏み出すために，家族の一員として家事に参加しようとする態度を育てる。」ことの大切さを親子で共通理解してほしいと考えた。

学級内には，様々な家族構成の児童がいる。どのような構成であれ，すばらしい家族であることを認識できるように，導入段階で家族の定義を明確にした。

自分の立場で意見を述べるのが難しいテーマなので，寸劇という形の役割演技を取り入れ，自由に発言できるように配慮した。

3 準備物

様々な構成の家族のカード

ペープサート

家事調べのまとめ

ワークシート「わたしの家族へ」

クレヨンまたは色鉛筆(12色) 子どもが各自準備

あるお母さんからの手紙



4 指導案

時間	学習活動	主な発問と予想される反応	教師の支援
5分	1 家族とは何かを考える。 2 家事とは何かを考える。 家事について考えよう。	家族ってなんですか。 ・いっしょの家に住んでいる人 ・血がつながっている人 ・単身赴任している人も家族 ・人数も色々 家事ってなんですか。 ・ごはんをつくったりそうじをしたり洗濯をしたりすること。 ・家族が生活するのに必要なこと。	・様々な構成の家族のカードを紹介し、どれも家族であることを共通理解できるようにする。 ・「家事」について学習する前に「家事」という言葉を共通理解しておく。
5分	3 「家事しらべ」を見ながら、実態をつかむ。	家事はだれがしていますか。 ・お母さんがほとんどしている。 ・お父さんはあまりしていない。 ・家族みんなで分けてしている。 ・私も ができるようになった。	・どの児童も発言しやすいように、「家事調べをまとめた表」を基に話し合いをする。
10分	4 ロールプレイを通して、家事について考える。	家事の分け方は家族によっていろいろありますね。では、Aさんの家の場合をみんなで考えてみましょう。 《寸劇》「Aさんとお父さんの場合」 ・お父さんはいざという時に役に立たない。いつもお母さんにまかせっきりだったから。 ・子どもは自分のこともできない。 《寸劇》「Bさんとお父さんの場合」 ・日ごろから家事をしているから、いざというときもちっとも困らないね。 ・お母さんも安心。将来も助かる	・架空の親子の設定をすることにより、どの児童も自由に発言できるようにする。 ・あえてAさんの性別については言及しない。こだわる場合は、その役を演じる児童の性別と考える。
5分	5 自分の家庭の家事について考える。	自分の家庭の家事について振り返りましょう。 ・もっと家事に参加しようと思った。 ・家族全員で家事について話したい。	
5分	6 あるお母さんからの手紙を聞く。		・気付いたことを再確認できるようにする。
10分	7 家族に手紙を書く。	学習をして思ったことを手紙に書いて家族に伝えましょう。	・自分が決心したことを家族にも伝える。
5分	8 今日の学習のまとめをする。	今日の学習を通して思ったことを発表しましょう。	

5 資料

(1)ワークシート(その1)

家事について調べよう！

年 組 ()

あなたの家ではだれがどんな仕事をしていますか？ 調べてみましょう！

かんけいの所は、「母」「父」「妹」「弟」「兄」「姉」「祖父(おじいちゃん)」「祖母(おばあちゃん)」と書きましょう！
 年れいは、わかる所だけ書きましょう。 20 は家の人と相談しましょう。(ある人だけ書く。)

...ほとんどしている ...少ししている ×...ほとんどしていない・していない

おもな家事	かんけい 名前 年れい	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
		自分								
		(才)	(才)	(才)	(才)	(才)	(才)	(才)	(才)	
1	朝食作り									
2	朝食の片付け									
3	洗たく									
4	洗たく物ほし									
5	洗たく物とりこみ									
6	洗たく物たたみ									
7	部屋のそうじ									
8	トイレのそうじ									
9	外回り(庭など)のそうじ									
10	食事の買い物									
11	夕食作り									
12	夕食の片付け									
13	おふる洗い									
14	おふるの湯の用意									
15	ごみを出す用意									
16	ごみ出し									
17	アイロンかけ									
18	ボタンつけ									
19	家や道具のしゅうり									
20										

(調べてわかったこと)

(3)寸劇の台本

お母さんは赤ちゃんを産んだので病院にいます。しばらく家ではAさんとお父さんと二人だけの生活が続きます。いつも家事は全部お母さんがしている家族です。食事や洗たくは大丈夫でしょうか？

< 食事編 >

A お父さん、もう7時だよ。おなかがすいたよ。オムライスを作ってよ。

父 えーっ？オムライスはできないよ。

A どうして？お母さんはかんたんだって言ってたよ。

父 いつもお母さんが作っているから、作り方をわすれたよ。

A じゃあ、コンビニべんとうにしよう。

父 そうしよう。

< 洗たく編 >

A お父さん、きゅう食エプロンあらって！

父 洗たくきの使い方がわからないから、手で洗いなさい。

A できない。やったことないもん。

父 そういえば洗たく物もたまったし。よし、説明書をさがすぞ。

A 何とか洗たくはできたね。

父 洗たくはつかれるなあ。

< ごみ出し編 >

A お父さん、なんか台所がごみくさいよ。

父 本当だ。かなりひどい。

A ごみを出す日はいつかなあ。

父 分からんなあ。となりに行って聞いて来いよ。

A お父さん月曜日と木曜日だって！

父 ちょうどいい。明日は月曜日だ。家中のごみを集めよう。

A うちはいつもお母さんが一人でごみを出していたんだね。

もしもAさんとお父さんが、日ごろから自分のことは自分でしていたら…。お母さんのようにできなくても、少しずつ家事を練習していたら…。二人だけの生活はどう変わるでしょう？

「日ごろから家事をしているAさんとお父さん」の場合

A お父さん、今日のばんごはんはオムライスがいいな！

父 そうか。じゃあ、とり肉と玉ねぎを出して！いっしょに作ろう！

A いいよ。それがすんだら洗たく物を取りこんでくるよ。

父 たたんだら、しまう場所をまちがえるなよ。

A 分かった。ごみ出しもわすれないようにしようね。お父さん！

父 明日はお母さんと赤ちゃんが帰ってくるからもっと忙しくなるぞ。

(4)あるお母さんからの手紙

皆さん、こんにちは。みなさんが家事について学習すると聞いたので、ぜひ私の話を聞いてもらいたいと思い、お手紙を書くことにしました。

私の家は、私と私の夫、小学3年生の子どもと幼稚園の子どもの4人家族です。家事はいつも私がほとんどしていて、お父さんや子どもたちは何もしないので、「私が外出したり、かぜをひいたりしたらどうなるんだろう。」といつも心配していました。

ところが、心配は大当たりでした。私が熱を出し、寝込んだときのことで。ごはんも作れない、洗濯機の回し方も分からない、下着のある場所も分からない、部屋はそうじもしないのであつという間にめちゃくちゃになってしまいました。私は横になりながら、情けないやら悲しいやらで本当につらい1週間でした。

でも、「これではだめだ。」と思ったのでしょう。あれ以来、子どもたちやお父さんが少しずつ家事をするようになりました。3年生の子どもはお皿洗いをしたり、洗濯物をたたんだり、今では目玉焼きも作れるようになりました。

まだまだ慣れなくて失敗することもあります。失敗を繰り返すうちにだんだん上手になって、今では手分けをしてできるようになってきました。これなら、私がいつかぜをひいても、おじいちゃんのお世話で家をあけることがあっても大丈夫かなと思います。

少しずつでも家族の一員として家事をしている姿を見ていて、頼もしく思えると同時にとても幸せな気持ちになり、明日からまた家族のために頑張ろうと思えます。みなさんも頑張ってくださいね。

(5)板書

家事について考えよう。

色々な家族の絵



「家事しらべ」の
まとめ

寸劇の台本

家族の一人として、家事を受け持とう。

(6)家事調べをして気付いたこと

- ・お母さんがほとんどやっているの、大へんだなあと思いました。
- ・お母さんが家のことを全部している。
- ・お母さんがほとんどしていた。
- ・ぼくは、ほとんどしていない。
- ・お母さんはほとんど二重丸です。お母さんは家の仕事をいつもしています。すごいと思います。
- ・いろんな人が仕事をしていることが分かりました。
- ・お母さんとおばあちゃんはいっぱいしている。
- ・お母さんが一番いそがしい。

(7)授業後の感想

児童

- ・お母さんの大変さが分かりました。お母さんが病気になっても困らないように家事をがんばります。
- ・これから僕は家事をもっとして、お母さんとお父さんを助けたいです。部屋のそうじとごみ出しをしたいです。
- ・家のことは、お母さんとお姉ちゃんが全部やってくれている。ぼくも今度から、お母さんやお姉ちゃんのようにやりたいと思います。
- ・ぼくは、家事でできることは少ないけど、これから覚えていくので、よろしくお願いします。
- ・いつも「洗たくしといてよ。」と言われてもやってなかったけど、今度からはがんばってやります。母さん、姉ちゃん、兄ちゃんはいろいろな家事をやったんだね。今度からわたしもがんばります。

保護者

- ・自分から家事をしよう、家族の役に立とうという気持ちがうれしいです。
- ・家事は毎日のことなので、みんなで協力していきたいと思います。
- ・家族の一員としての自覚をもってくれてうれしいです。これからもみんなで助け合って楽しく家事をしていきましょう。
- ・みんなが気持ちよく生活していけるように、できることを少しずつふやしていったらいいね。